世界に羽ばたく力を育む先進的な高崎の教育力

高崎市は、子どもたちが良く学び、良く遊べる環境整備に力を入れています。例えば英語教育。市内に83ある全小中学校に、ネイティブのＡＬＴ（外国語指導助手）を配置し、小学1年生から英語に親しめる教育環境を整えています。また、休日などに保護者や地域の人たちが子どもたちの勉強をボランティアでお手伝いする「学力アップ大作戦」を実施。地域と学校、市が協力して次代を担う子どもたちを育みます。

学校区ごとに行われている無料の学習講座「学力アップ大作戦」。地域を挙げての子どもたちの学習支援活動は全国的にも珍しい取り組み

Takasaki's Advanced Educational Power

Takasaki is focusing on creating an environment where the children who will lead the next generation can properly learn and enjoy play. Native ALTs (foreign Assistant Language Teachers) are assigned to all elementary and junior high schools in the city so children can become familiar with English from an early stage. Also, Haruna Outdoor Education School was established as a facility for hands-on learning that makes the most of the natural environment of Mt. Haruna and Lake Haruna. Furthermore, parents and local volunteers are working in the area to help children study.

生きた英語を学ぶ機会をＡＬＴの全校配置とくらぶち英語村

高崎市では、全ての小中学校83校に英語指導助手（ＡＬＴ）を配置し、英語教育に力を入れています。

ＡＬＴから生きた英語を学ぶことで、子どもたちは高い英語力を自然に身に付けることができます。人口30万人以上の都市で、ＡＬＴの全校配置は珍しく、高崎市ならではの特色を生かした国際教育を実践しています。低学年からネイティブの生きた英語に触れることで、楽しく慣れ親しみ、高い英語力の習得が期待されます。

平成30年度からは、親元を離れ、集団生活や自然体験をしながら、外国人の英語指導員と一緒に、日常生活の全てを英語で過ごす山村留学「くらぶち英語村」がスタート。これは国内でも例のない取り組みで、全国各地から応募があります。

子どもたちは地域の小中学校に通学しながら、宿舎内では英語で会話し、実践的に英語力を身に付けていきます。通年コースの他、夏休みや冬休みなどを利用した短期コース、毎週末の土日曜日だけ滞在する週末コースもあり、幅広い教育ニーズに応えています。

榛名湖の自然を生かした体験学習を行う施設「榛名林間学校榛名湖荘」。地域愛や友情を育める貴重な機会となっている